

オーストリア修学旅行



芸術の魂 オペレッタ

212 浅井 めぐみ (豊明市立豊明中学校出身)

私たちは修学旅行4日目にフォルクスオーパーでヨハン・シュトラウス2世作曲のオペレッタ「こもり」を観劇しました。本場での一流オーケストラ、バレエダンサーそしてオペラ歌手によるオペレッタはさまざまな音楽要素の詰まった最高のエンターテインメントでした。歌手だけではなくたくさんの人の力が合わさった舞台は華やかで「総合芸術」と言われるのを感じました。

私たち音楽科はピアノを始め、管弦打楽器や声楽、電子オルガンなどいろいろな楽器を専攻して勉強しています。そんな私たちにとって本場のオペレッタを観劇できたことは貴重な体験となりました。

大切な友達と素晴らしい経験をすることができたオーストリアでの修学旅行の思い出を胸にあと1年となった高校生活を充実したものにするため毎日努力していこうと思います。

ウィーンのシンボル
“美しきシュテファン大聖堂”

212 成田 麗名 (名古屋市立菊井中学校出身)

私たちは修学旅行で、3月5日にシュテファン大聖堂に行きました。シュテファン大聖堂は、本当に大きくて外観も美しくてさすがウィーンのシンボルだと思いました。

オーストリアの1番の有名人、モーツァルトの結婚式と葬儀はこの大聖堂で行われたそうです。ここで結婚式を行ったら、一生忘れないだろうと思うくらい内装が華やかでした。内装のお話で一番印象に残っているのは、ステンドグラスです。ステンドグラスの役割は「見る聖書」と言われており、言葉が分からなくても絵を見て聖書を理解することができるように作られているそうです。ステンドグラスにそういう意味があることを知らなかったのが驚きました。オーストリアは建物ひとつひとつが本当に立派で別世界に行ったような気持ちになりました。

感動を呼ぶ歌声

212 牧 佑衣梨 (春日井市立南城中学校出身)

私たちは修学旅行でオーストリアに行き、ウィーン少年合唱団付属小学校を見学しました。とても有名な合唱団で世界をまたにかけ活動しています。そんな子どもたちの歌声は今までに聞いたことがないような、心癒される素晴らしいものでした。何度も鳥肌が立ち、感動のあまり泣きそうになりました。曲によって表現や歌い方がさまざまで、いろいろな景色が私の目に映りました。

私はあらためて音楽は素晴らしいと思いました。「音楽は楽しい」「音楽は楽しむものだ」言葉では表せない心や気持ちを表現することができます。音楽は人に幸せを与え、心が癒されたい時に勇気づけられたり励まされたりします。

世界中の人々を感動させることができる子どもたちは素敵で、私もそうなりたと思いました。

マウトハウゼンを訪問して

212 平島 大 (名古屋市立上社中学校出身)

僕は修学旅行で現地の歴史学習の一環としてマウトハウゼン強制収容所を訪問しました。始めに収容され実際に生活していた部屋を見ました。そこは部屋というよりは家畜小屋に近くとても人が住むような環境ではありませんでした。収容されていた人々がどんな気持ちで過ごしていたのか僕達には想像することができないほどの絶望と恐怖にうちひしがれていたのだらうと思いました。

次に資料館へ行って当時監禁されていた人が着ていた服や軍が使っていた銃、その弾などを見学し、最後に遺体焼却場を見て回りました。その部屋には遺影が大量に貼られており少し不気味な感じがしました。隣の部屋には亡くなった方たちの名前が何千、何万と彫られていました。一瞬で心が痛む光景でした。外へ出ると電子鉄線が張り巡らされた塀が目飛び込んできました。写真で見るとより凶悪な形をしていました。

授業で習った時に想像していたものをはるかに超えるような場所でした。これが100年以内に起きていたこととは到底思えません。このような経験を後の世代に語り継いでいかなければいけないと改めて思いました。

同朋和敬

卒業生が創り上げる
感動の卒業式

4

Vol.214
学校通信

Doho High School Community Press



2月16日卒業式。本校にとって卒業式の意味は、計り知れないほど大きい。特に3年生全員で創り上げる『合唱構成詩』は、毎年新しいアイデアと迫力で強烈なメッセージを伝えてくれる。「自ら問いを立て、自ら答えを考える」という構成には思わず唸った。♪♪ああ答えがある問いばかりを 教わってきたよ だけど明日からは 僕だけの正解をいざ探しにゆくんだ♪♪ 3年生の合唱曲『正解』を聞きながら、きっとどこに行っても大丈夫だろうと感じた。考えて行動できると。さて、在校生は何を感じ取ったのだろうか。

同朋高等学校長 梅田 功

Schedule [行事予定]

4月	5日 金	入学式
	8日 月	始業式
	9日 火	実力考査、語学EP説明会、 2年生MP説明会
	10日 水	3年生進路ガイダンス、1年生MP説明会、 美術EP説明会、就職ガイダンス
	12日 金	医療・看護系ガイダンス

4月	17日 水	フレッシュマン合宿 [~18日]
	18日 木	2年生遠足、3年生上山研修
	19日 金	【休校日】
	25日 木	クラブ総会
	27日 土	PTA常任委員会
5月	16日 木	体育大会
	17日 金	ウエサカ祭
	18日 土	PTA総会、学級懇談会
	27日 月	中間考査 [~29日]

6月	1日 土	PTA常任委員会
	5日 水	1年生キャリア教育
	12日 水	生徒会立会演説会
	13日 木	創立記念日 [休校日]
	16日 日	珠算電卓検定
	22日 土	地域懇談会
	23日 日	地域懇談会、簿記検定
	29日 土	地域懇談会
	30日 日	地域懇談会、ビジネス文書検定

平成30年度 卒業式

本校の卒業式は、卒業証書授与式に続き、卒業生による合唱構成詩が披露されます。

今年度は、自分たちで立てた「問い」に答えるという形式で3年間を振り返り、

未来へと踏み出す決意を表しました。

平成30年度 合唱構成詩

「よいはじめ」

問1.最初に話した人は誰ですか？

入学式、同じ中学校の人は誰一人いません。「うわあ、隣の人怖そうだなあ。仲良くなれるのかな?」「おはよう、1年間よろしくね」席に着くとすぐに話しかけられて驚きました。「お、おはよう。よろしく!」お互いにぎこちない笑顔で、顔が怖かったのはお互い様でした。

「生徒手帳を配ります」先生が1人ずつ顔と名前を確認します。よく見ると先生の手が震えていました。先生たちも緊張していたのかな?

4月半ばのクラスはまだまだ堅い雰囲気です。そんなタイミングで行われた、1泊2日のフレッシュマン合宿での自主勉強の時間は、「私語厳禁」。それでも、隣の子とこっそりおしゃべりしていました。一緒に何かをすることで距離が縮まりました。

僕は愛情部屋にお世話になりました。最初は自分1人しかなくて怖かったけれど、先生が優しく、分からない事は理解するまでとことん教えてくれました。先生の愛情が感じられたよ!

最終日のドッジボール大会では、女子から「かっこいいー!!」と声援を浴びて、とっても幸せでした!帰る頃にはすっかり打ち解けた雰囲気になっていました。僕たちの高校生活はここから始まったんだ!

問2.憧れの先輩に近づくことはできましたか？

「みんな部活決めたんだ。私はどうしよう…」「ねえ、うちの部活入らない?」何に入ろうか悩んでいた僕に声をかけたのは、とってもきれいな先輩でした。先輩に惹かれて入った部活では、練習が辛くて体調を崩しました。「先輩、私もう無理です」「私も思ったことはあるよ。でも、続けて良かったって今は思ってるよ。だから、もう少し続けてみようよ!」何度も救われた、やさしく頼もしい先輩の言葉はもうなくて、今は私が先輩です。

何でも簡単そうに先輩はキャプテンをこなしていました。だからキャプテンに選ばれたとき、自分もできるだろうと思っていたけれど、実際は、チームを上手く仕切れず、先生に何度も叱られました。

その度にキャプテンとしての自覚が足りないことや先生に頼りすぎていること、先輩が私たちの見えないところで努力していたのだと思い知りました。そんな自分だったけど、頼ってくれる後輩や支えてくれる仲間がいたから最後までやりきることができました。完璧ではなかったけれど、少しでもあこがれの先輩に近づけたかな?

問3.新しいことを知ったきっかけは何ですか？

私にとってそれは「沖縄」。事前学習では、戦争を生きのびた人の言葉やガマでの過ごし方を学びました。そして、実際に体験したことで分かったガマの狭さや暗さ。この中で、ずっと耐えるしかなかった人たちの恐怖は、今を生きる私には、想像もつきませんでした。

ひめゆり平和祈念資料館には、戦争で命を落とした人々の写真が展示され、それぞれの写真の下には、亡くなった場所や状況、将来の夢が書かれていました。「自分の未来も自由に決められずに、死ななきゃならなかった人がいたんだ」そう思うと、胸が苦しくなりました。

伊江島では、おじいおばあが「おかえり」と、家族のように迎えてくれました。おじいおばあが作ってくれたタコライスとソーキ蕎麦。おにいとドライブで買ってもらった伊江ソーダ。沖縄の文化を堪能しました。「ただいま」と言っておじいおばあに会いに行きたいです。

私はオーストリアで、マウトハウゼンにある強制収容所を訪れました。展示スペースには、拷問器具、収容者が着ていた服が並べられていました。その中に1着だけ赤ん坊の服が置いてあり、絶望の中で生まれた小さな命のために隠れて作られたつぎはぎの服なのだと強烈な印象を受けました。さまざまなものを見て、知り、戦争に対してあまりにも知識や関心がなかったのだと思い知りました。

普段は経験できない貴重な体験は他にもありました。初めて外国語での買い物は、メニューも読めなくてホットドッグ1つ買うのにこんなに時間がかかるなんて!言葉が通じないだけで、買い物がつすごく大変でした。

ウィーン少年合唱団の小学生と一緒に受けたレッスンでは、苦手だった歌が少し、得意になりました。

夜には正装をしてオペラ鑑賞。台詞はドイツ語、字幕は英語で何を言っているのか分かりませんでしたが、本場の雰囲気やプロの実力を体験できました。実際にみて学ぶことで、音楽そのものの美しさや魅力に改めて気づくことができました。



問4.本気で努力したことはありますか？

私は受験。どれだけ勉強しても、模試の結果を見ては「このままじゃ第1志望に行けない…」そう思ってひたすら勉強しました。入試前最後の模試でやっと第一志望に届いたとき、努力は私を裏切らないと実感しました。

僕はデッサン。美術系の大学に進みたい僕の受験はまだ終わりません。勉強はもちろん、デッサンに色彩構成など大学側からの課題の絵も何枚も描かなければなりません。良いものを描こうと、朝早くから学校で先生に教えてもらい、友達と意見を交換したりしました。僕の理想とする絵を目指して、今日も僕は絵を描き続けます。

私は面接を10人以上の先生にお願いをして、毎日練習しました。厳しい言葉を突きつけられ涙を流した日もありました。それなのに、「就職する人って勉強しなくて楽だよ」と言われた時は「私だって努力しているのに」とショックを受けました。そんな時友達が「自分らしくするには、まず自分をよく知ることが大切だよ」とアドバイスをくれました。そのおかげで結果は合格。4月から、精一杯頑張ります!

私は検定。いくら練習しても上手くいかなくて、苦手な分野の検定を取得できるか自信がありませんでした。そんな時友達が、「一緒に頑張ろう」と何度も教えてくれました。ここまでしてくれた友達のためにも、絶対に合格したくて、家でも夜遅くまで勉強しました。そして見事合格!「勉強は努力した分だけ結果がついてくる」という先生の言葉の意味が分かった気がしました!

私は、専攻実技試験。1年生の時から憧れていた卒業演奏会の舞台に、絶対に立ちたくて、実技試験に向けて毎日朝早くから夜遅くまで練習をしました。出演者一覧に自分の名前があるのを見て、「これまでの努力が実を結んだ!」という嬉しさと同時に、責任の重さを感じました。失敗できないという思いがだんだん強くなり、自分を責めて、心は限界まで追い込まれていきました。それでもこれまで努力した自分を信じて、3年間のすべての思いと、自分を支えてくれた全ての人へ感謝の気持ちを込め、全力で演奏しました。お客さんの拍手の暖かさと感動は、一生忘れません。

問5.あなたには「仲間」とよべる人がいますか？

今年は、日本ガイシホールで行った体育大会。「クラスでおとなしいあの子!実は足が速い!」「あれ?行事が嫌いそうなのにすごく声を張って応援してる!」クラスメイトのいろんな姿を見ることができました。この日のためにとても練習してきた応援合戦では、踊っている時のことは、無我夢中で覚えておらず、一瞬で終わってしまいました。午後の競技では僕は綱引きに出ました。相手が強くて負けそう…でも、ここで諦めたら勝てない!あの時の応援、仲間の

声があったから頑張れた!「ありがとう!」

体育大会の前には仲間との衝突もありました。最初は「明日の練習はどうしよう」「レクは何をしよう」自分ばかり悩んで、1人で抱え込んでいました。そんな時、「やることある?」とクラスメイトが声をかけてくれました。自分には仲間がいる。頼ることは悪いことじゃないんだ!と感じました。

ある先生の言葉「相手に伝える。そしてそれが相手に伝わり次の行動に繋がる」。今ならその意味がよく分かります。次の日から練習メニューも1人じゃなくて仲間と考えてみました。するとみんなが自分から動いてくれて、仲間がいればなんでもできると思えました。

文化祭では、アカデミー賞はどのクラスよりも遠いと感じていました。みんな、受験が近づき勉強優先でホームルームで何をするか決めても、「本番何とかできればいい」くらいにしか考えないようでした。夏休みも、自主的に文化祭準備をする日はほとんどありませんでした。進まない作業、心のこもっていない台詞にクラスの雰囲気がピリピリしてきます。当然のように仲間割れをして、授業後帰るしかない日もあり辛い思いをしました。

本番前日、そんな状況を変えたのは堂々としていて迫力のある演技をする他のクラスでした。「このクラスに絶対負けたくない」とクラス全員がそう感じ、本番5分前に互いの想いをぶつけてケンカになりました。でもその姿に、その目の色に、ホームルームで何をするか決めた時と違い、やる気の強さがありました。文化祭なんてなくなればいいと思った時もありましたが、舞台のみんなは、不思議と笑っていて、驚くほど時間が早く過ぎ、少し寂しい気持ちさえありました。

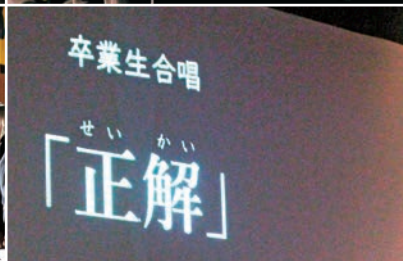
時には、すごく苦しめられた『仲間』。一緒に頑張って、作り上げてきた『仲間』。仲間の悪い面が見えたこともありました。でも、そんな仲間たちで達成感を分かち合ったことは、当たり前のように実は奇跡だったんだと思っています。

高校生フェスティバルで、リーダーになった時はプレッシャーで毎日泣いていました。でも、後輩たちが、「先輩!協力してくれる子が増えました!ほかは何をすればいいですか?」と一緒に頑張ってくれていました。

朝練での1500m走も、先生からのきつい言葉も、みんなと笑い合った日々があったからこそ乗り越えられました。その想いから、「必ず笑う」と書いて「必笑」。ここから始まった大会が最後の大会となり、仲間の涙を見て、泣かないと決めていたのに泣いてしまいました。その涙は、何もできなかった自分への無力感、悲しさ、助け合いながら戦った2年半の想いが混ざった涙でした。これから先、辛くて逃げたくなったとき、部活で過ごしたみんなとの時間を思い出して頑張ります。

先輩、後輩、学年の壁を越えて、仲間がいました。私たちには、仲間がいるから、辛いことも、苦しいことも乗り越えられたんだ!!





卒業していく先輩へ 在校生からのメッセージ

みんなの想いを背負って走ったリレーでは、人が足りなくて先輩と一緒に出場して、私が離された分を先輩が巻き返してくれました。申し訳なくてずっと黙っていた私に、先輩が「十分速かったよ!」と、この言葉に私はどれだけ救われたことだろう。

「準備を素早くしっかりと」毎日の練習での、先輩の口癖でした。最後の大会で、ひたむきにゴールを狙い続ける先輩の姿は、今でも目に焼きついてます。その背中から、「日々の努力が最後までやりぬくことにつながる」ということを学びました。

元気のない時、辛くて逃げだしたい時に「がんばろ!」と保健室で私を励ましてくれましたね。年が離れているとは思えないほど、親身になって相談にのってくれました。私には見えなかったけれど、本当は先輩にも辛いことや大変なことがあったのでしょう。そうした経験があったからこそ、今の姿があるということに、今になって気がつきました。今度は、私が誰かに「がんばろ!」と言ってあげられるようにになりたいです。

※「問6. 私たちは、どんな先輩でしたか?」という項目は在校生からのメッセージに組み込みました。



問7. 後悔していることはありますか?

1年生の時から勉強しておけば…
何事にも臆さず挑戦しておけば…
好きな子に、想いを伝えておけば…
あのとき「ごめんなさい」を言えていれば…

いつも一緒にいた友達の悩みに対して、私は適当に返してしまいました。向こうは本気で悩んでいたのに、私の心ない言葉のせいでケンカになってしまいました。「もう、話しかけてこないで」「分かった」。友達の想いに気づけなかったことを、今でも後悔しています。



問9. あなたはなぜ、今日まで頑張ってきたのですか?

毎日、たわいもないことで一緒に大笑いして、ときには電話で夜遅くまで相談に乗ってくれた親友がいたから頑張れました。留学した君が、向こうで独り頑張っていると思って自分も頑張りました。「君がこんなところで終わる人だなんて思わないよ。だから、もう少し頑張れ」とくじけそうになった時、力強く励ましてくれた先生。毎朝校門の前で笑顔であいさつしてくれた先生。検定対策を夜遅くまで熱心に付き添って、いつも自分達の可能性にかけてくれる先生たちがいたから踏ん張ることができました。そして、いつも一番そばで応援してくれた家族がいたから。

私は幼い頃から、スポーツや習い事をさせてもらいました。小学校4年生の時、父が重い病気にかかり、余命宣告をされました。治療費もかなりかかるため、母は毎朝早く起きて、新聞配達をしてから仕事に行っていました。それでも毎朝、私の朝練習の時間に合わせてお弁当を作ってくれました。高校でサッカーをすることになったのに、誰よりも応援してくれたのは母でした。進路を決めるときに一番悩んだのは学費のことです。部活を辞めて進学費用を稼いだ方がいいのか。それとも、他の進路に進んだ方がいいのか。その時も、母と姉が応援してくれて、看護の大学に行く決心をし、必死に勉強して合格することができました。幼い頃から私にたくさん経験させてくれたこと、そして何より私を大学に行かせてくれたこと、本当に感謝しています。今までありがとう。

※「問8」は、紙面の都合上割愛しています。

問10. あなたは、どのように生きたいですか?

これまで積み上げてきた経験、同朋で築いた繋がりがあります。そして、将来の夢もあります。今までは誰かの支えがあったから頑張ってきたけど、これからは自分の手で作り上げて生きていきたいです。

どうしたら、自信を持てるのだろう。
どうしたら、自分の道を進めるのだろう。
どうしたら、夢を実現できるんだろう。
どうしたら、もう一步、前に進めるのだろう。
どうしたら、憧れの人のようになれるんだろう。
どうしたら、後悔しないで生きていけるのだろう。
どうしたら、あの頃に戻れるのだろう。
どうしたら、弱い心に勝てるのだろうか。
どうしたら、自分の殻を破れるのだろうか。
どうしたら、人の痛みを理解できるんだろう。
どうしたら、思いやりをもてるのか。
どうしたら、感謝を伝えられるのか。
どうしたら…

「正解って何だろう」私たちは、『答え』を求めて、今日も生きていく。明日も、明後日も、これから先ずっと。さあ、正解を探しに行こう!

卒業生合唱「正解」 作詞 野田 洋次郎

制限時間は私のこれからの人生。
解答用紙は私のこれからの人生。
答えあわせの時に貴方はもういない。
だから、採点基準はわたしのこれからの人生。

「よーい はじめ!」

学校長式辞

立春が過ぎ春への鼓動が始まろうとする今日この佳き日に、卒業証書を手にした卒業生の皆さん、卒業おめでとう。こんなに生徒が中心で、先生と生徒の信頼が厚くて、生徒が活躍できる学校はそんなにはないでしょう。周りの素晴らしい人達に支えられ、この3年間を乗り越えてきた皆さん、ぜひお世話になった方々に感謝の言葉を伝えて下さい。

さて、本日お話ししたいのは皆さんがこれからどこへ行くことも、同朋高校で学んだ建学の精神、いわゆる“同朋精神”を広げてほしいと改めて感じたという話です。そう思ったきっかけは最近見たある番組でした。『絵本専門士』という資格を持つ女子アナウンサーが紹介した『2019年に読んで欲しい絵本』という内容に刺激を受けて私が考えたことをお話しします。この絵本の作者は中山千夏さん。中身はひろくんという男の子が障害などについて語るもので、目が見えない障害が「どんな感じかなあ」というように描きます。タイトルもそのまま「どんなかんじかなあ」です。原文通りに読んで方が意図が伝わりますので、場面を想像しながらちょっと聞いて下さい。

友達のまりちゃんは目が見えない。それで考えた。見えないってどんな感じかなあって。しばらく目をつぶってみたら、わかるかもね。なんて、たくさんいろいろな音。僕は驚いて目をあけた。だから、まりちゃんに会った時、言ったんだ。見えないってすごいんだね。あんなにたくさん聞こえるんだものね。別の友達のきみちゃんは、お父さんもお母さんもないんだ。神戸の大地震で死んじゃったんだって。それってどんな感じかな。一所懸命考えたけどわからなかった。だって、父さんと母さんを亡くしてみるわけにはいかないものね。だから、きみちゃんが来た時間いてみたんだ。きっとすごお寂しいだろうね。きみちゃんは、ちょっと考えてこう言った。そうでもないよ。本当かな。次の日曜にきみちゃんが来てこう言った。私ね1日じいっと動かないでいてみたの。へええ。どんな感じかなと思って。どんな感じだった?と僕は聞いた。動けないってすごいんだね。じいっと空を見ながら、いつもの100倍くらい色んなことを考えたよ。わかったこともたくさんあったよ。だから、ひろくんは学者みたいなんだねえ。僕は照れ臭くてただ笑った。今日も僕は、いつものように考えている。宇宙のこと、分子のこと、古代のこと。それから動けるって、どんな感じかなあとかね。

PTA会長祝辞

卒業生の皆さん、本日はご卒業おめでとうございます。

さて、先程の卒業証書を受け取った皆さんを見ていると、今日の日を迎えられた嬉しさはもとより、これから踏み出す新しい社会へ向けて、頼もしさと心強さをも感じ得ました。3年前の入学式で梅田校長先生から同朋高校で学んでほしいこととして、『一人ひとりの違いを認め合うこと』『あらゆる場面で考えること』とありました。皆さん振り返ってみてください。この同朋高校での3年間、勉強、部活動、課外授業を通じてさまざまなことに皆さんはチャレンジをしてきました。

私どもPTAも深く関わった文化祭、オープンフォーラム。また、部活動での応援など、皆さんが立派に成長してきた姿を見せてくれたことを嬉しく思いました。1年生のフレッシュマン合宿に始まり、3年生の体育祭、文化祭を集大成として成功させようと、いろいろ悩んだり、ぶつかったりして、自分そして自分達の思いを創り上げ達成感を学び得た努力。そして、家族、先生方、多くの先輩、後輩、友達との交流で得た優しさと温かさ。これらのことは、まさにあなた方が『他を尊重する』『考え、努力する』を一生懸命に前へ進み学んだ結果ではないでしょうか。

皆さんの家族や先生方は、皆さんが『幸せな人生を歩んでほしい』『社会に出てからも頑張ってほしい』『社会で活躍できる人に成長してほしい』と心から願っておられます。

高校生活での3年間は、楽しいことばかりではなかったと思います。部活動の仲間と共に厳しい練習を乗り越え、思っていた結果を得られた時もあれば、そうでない時もあったでしょう。目標を見失い、どうして良いのかわからなくなった時もあったかもしれません。それでも皆さんは、歩みを前へ進めてこられました。

「動けるって、どんな感じかなあ」と語ったひろくんは車椅子の子でもあります。この絵本のおかげで、私は障害というものを肯定的に捉えられました。実際に障害を持ちながら活躍中の全盲のピアニスト辻井伸行さんや、『五体不満足』を著した乙武洋匡さんのことが頭に浮かびましたが、障害に対する世間の見方も変わってきているのは確かです。障害者が遠ざけられ排除されたりするのは、利益を上げることが最優先で、いかに効率よくいかに合理的に生産性を上げるかという、いわゆる「資本の論理」とぶつかることに因ります。さらに言えばこの「資本の論理」は健常者に対しても、もちろん皆さんに対しても襲い掛かってくることです。

ここで皆さんに考えてほしいことは3つです。1つめは生産性、効率性、合理性を追求することでは、本当に利益を上げることではできないのかということです。極端なケースがリストラですが、これは余りにもリスクが大き過ぎます。これについて、別の道があるのではないのでしょうか。そのヒントは「同朋高校の教育」、すなわち“同朋精神”にあります。例えば失敗しても次に活かせばいいというおらかな雰囲気とか、周りを明るくする、人をなごませるなど、数字だけでは見えない一人ひとりの良い所を認め合うとか、困った時はお互い助け合うとか…。そんな共同体が作れたら帰属意識は高まり、働く意欲も内から湧いてくるのではないのでしょうか。2つめは誰もがいつ障害を持ってもおかしくないことです。最近有望な水泳選手が白血病であることを公表し衝撃が走りましたが、病気や事故がきっかけで障害を持つことはあり得ます。たまたま障害を持った、たまたま健常だっただけで、両者は繋がっています。だから共感し合えるはずですし、実際同朋高校でも両者は共感し合って来ました。3つめは障害も含めた社会的弱者に優しい社会をどうつくっていくのかということです。弱者が生き生きと生きられる優しい社会をつくることは、イコール私達が生きやすい社会をつくることでもあります。そして、皆さんに望むことは、これから関わるであろう職場や学校、地域や家庭を一人ひとりの個性が活きる笑顔あふれる共同体にしてほしい。そのために同朋高校で培った“同朋精神”を広げてほしい。この“同朋精神”こそ、いずれ弱者に優しい社会をつくることにつながる道ではないかと思います。

最後に、同朋生として過ごした3年間は終わりますが、人生は続きます。ここで受けた教育に誇りと自信を持ち世のため人のために尽くす人になってくれることを心より願って私の式辞と致します。

PTA会長 恩田 晃

それは、あなたを信じて、励まし支えてくれる家族、先生、友達、仲間がいたからではないでしょうか。

皆さんは、これから自分の意思で選択した新しい社会へ歩みを踏み出します。責任と行動の範囲も広がります。思い通りにならない不自由さを感じることも多々あることでしょう。

これからの人生で幸せを感じて歩めるかどうかは、自分自身の『考え方と行動』次第だと思います。苦しい時、壁にぶつかった時、失敗した時は、自分を客観的に見て振り返る勇気、戻る勇気も必要です。また、一人で悩むのではなく、周りには、あなたを支えてくださるたくさんの方々がおられます。その方々に相談や協力を仰ぎ得ることも選択肢のひとつです。そして、責任を持った自立した大人になって、周りの人と良好な関係を造り上げ、社会で活躍する人になれることを願っております。

これから始まる、あなたの輝く未来を創り上げゆくには、ポジティブに前向きに物事を捉え努力して進めることが不可欠です。そのためには、自分の周りの人と自分に『感謝すること』『ありがとうと言えること』が大切なことだと私は思っております。

【あなたを支えてくれる人がいるという当たり前に感謝する】
【大切な人には言葉や行動で、感謝の気持ちを伝えることが当たり前ができる】
そして、【自分が成長してきた人生に対しても感謝】してください。
これからの皆さんのご活躍と幸せを心から願い応援をしております。

保護者お礼の言葉

梅の花がほころびはじめ、その香に春を感じられる季節になりました。この佳き日に卒業を迎える保護者の代表として、僭越ではありますがお礼の言葉を述べさせていただきます。本日はこのような感動に心が震える手作りの卒業式を執り行っていただきまして、本当にありがとうございました。校長先生をはじめとするすべての教職員の皆様に、保護者一同深く感謝を申し上げます。

スクリーンに流れる写真に、この3年間の出来事がついこの間のことであるかのように思い出されました。写真1枚1枚の笑顔に、子どもたちがどんなことを感じて過ごしていたのだろうかと想像すると、つい目頭が熱くなりました。

3年前の入学式の日。校門から校舎を見上げて名前を探すその顔つきが、期待に溢れてキラキラしていました。今日の顔つきはまた一段と輝きを増して、未来をまっすぐ見据え、とても頼もしく見えます。

それはやはりこの3年間で先生方から与えてもらうだけの学びだけではなく、自分で考えて伝える力、自発的に行動する力、仲間と協力して成し遂げる力など、

自信を持てる卒業式

「今までの人たちを超えたい!新しいものを作りたい!」という考えから始まった構成詩作り。合唱曲が「正解」に決まり、合唱に意味を込めるために、試行錯誤しました。「問いを立てて、答えていく」という形式にたどり着くまで、苦しい時間が続きました。しかし構成を練っていくうちに、BGMをすべて音楽科の人たちが演奏してくれるようになるなど、次々と新しいことに挑戦できるようになりました。

最初は構成詩も作業が進まず、どこまでできれば終わりがも分からず、チームとしてもなかなか上手く回りませんでした。毎日誰かが泣いていました。けれど、朗読がうまくなっていく仲間、必死で練習している仲間、そんな仲間たちを見て、「私ももっと頑張らないと!」と思いました。仲間たちとたくさん向き合って、たくさんぶつかって、その度に構成詩は良いものになっていきました。

一緒に最高の卒業式を作りたい

私は今年の卒業式で、在校生構成詩のチーフと朗読者を務めました。昨年も構成詩のメンバーとして卒業式に携わり、今年はチーフをやること決めていました。まとも役をする上で、作業しやすい良い雰囲気を作ろう、卒業式を見た事がない1年生にわかりやすく説明しようとするほど頭の中が真っ白になり苦戦しました。自信を失くして、もっと上手にできる子がチーフをやった方が良いのではないかと思うこともありました。そんな時「あまちゃんはチーフに向いてるよ!初めは上手いかないかもしれないけど、大丈夫」という言葉に自信をもらい、最後までやりきることができました。実行委員の子はいつも真剣に話を聞いて作業に取り組み、担当の先生は、集まりの前に打ち合わせをしてくれました。このような支え

自分の卒業する姿を重ねて

初めて同朋高校の卒業式に参加して、3年生が作った合唱構成詩に感動しました。たくさんの“問い”が出てきて、なかには自分も考えさせられる問いが多くありました。

「努力したことは何か」―― 私はすぐに部活が思いつきました。卒業する時にも、自信をもって努力したと言えるように頑張りたいと思います。「後悔はあるか」―― まだ1年生なのにたくさん思いつきました。そのほとんどは失敗を怖がって

平成30年度 卒業生対象「各種表彰者」

愛知県知事賞	309 上田 雅也	(津島市立曉中学校出身)
名古屋市長賞	309 遠松 竜一	(名古屋市立はとり中学校出身)
日本私立中学高等学校連合会会長賞	312 岡島 夕奈	(名古屋市立富士中学校出身)
愛知県私学協会会長賞	305 長尾 柚葉	(津島市立神守中学校出身)
産業教育振興中央会賞	311 鮫島 由羽	(名古屋市立鳴海中学校出身)

PTA副会長 佐藤 順

教科を超えたたくさんの方のことを子どもたちが身につけてくれたおかげだと思います。また、子どもたち一人ひとりの心に真っすぐ耳を傾けてくださったばかりでなく、私たち保護者の悩みや声を真摯に受け止めてくださったこと、先生方には言葉では言い表せないほどお世話になり、お礼の申し上げようもございません。

卒業のこの日を迎え、子どもたちはそれぞれの未来を見つめ、また新たな期待と不安を胸に抱いていると思います。これから進む道に大きな壁が立ち はだかり立ち止まることもあるでしょう。そんな時、先生方がかけてくださった優しい言葉や熱い励ましを思い出し、きっと前に進む力を奮い起こすことでしょう。先生方には卒業してからもご指導いただくこともあるかと思いますが、どうぞ変わらぬお導きの程、よろしく願い申し上げます。

結びにあたり、同朋高校の益々のご発展と、すべての皆様のご健勝とご活躍を心より祈念し、お礼の言葉とさせていただきます。

305 長尾 柚葉 (津島市立神守中学校出身)

当日、たくさんの人が泣いているのを見て、構成詩に詰めた想いが伝わったんだなと思い涙がこみ上げてきました。

私はこの構成詩が、「一番すごいものだ」と言い切れます。それは、私がこの構成詩に自信を持つことができたからです。この先、卒業式を作り上げる人たちは、自分たちが「一番すごい!」と思える卒業式にしてほしいと思います。そうすればきっと、とても素敵な卒業式になると私は思います。後輩の皆さん、よりすばらしい卒業式を目指して進み続けてください。私たちも、未来へ向かって進み続けます。

「よーい、はじめ」

205 小嶋 天音 (東海市立名和中学校出身)

はとても心強かったです。

第二部の本番が始まる前に「頑張ろうね」と先輩が手を合わせてくれました。舞台袖では先輩方が涙を流していました。その様子を見て、卒業することが先輩方にとってどれだけ大きな事かを実感しました。私は在校生代表である責任と共に、先輩にしっかり想いを届けたいと強く思いました。

同朋高校での卒業式は人生でたった一度しかありません。そのたった一度を最高のものにしたい。そんな思いで、昨年から卒業式実行委員を務めることができました。来年も再来年もその先もずっと、「ありがとう」が溢れる同朋高校の卒業式であつたらいいなと思います。

106 太田 拓海 (名古屋市立豊国中学校出身)

挑戦もなかったことです。今は失敗を恐れて挑戦もせずに後悔するより、失敗をたくさんしてどんどん経験を積んで、次に活かせるような人間になりたいです。

2年後、自分も合唱構成詩を作って人を感動させる側になりたいと思います。サッカー部の先輩もステージに立っていて、その先輩は普段の練習を見てもとても真面目で、人を動かす力もあり、そんな人になるためにも普段の部活や学校生活の面で頑張っていきます。



Club&Award News 生徒の活躍(12月9日～2月28日まで)

■柔道部

平成30年度 愛知県高等学校新人体育大会 柔道競技
男子81kg級 第2位 小池 倫太郎 (202) 東郷町立東郷中学校出身

■サッカー部

平成30年度 愛知県高等学校新人体育大会
サッカー競技 名南支部予選会
Eブロック 優勝 →県大会へ

平成30年度 愛知県高等学校新人体育大会
サッカー競技 愛知県大会
ベスト8

■女子バスケットボール部

平成30年度 愛知県高等学校新人体育大会
バスケットボール競技 名南支部予選会
女子の部 第8位

■ラグビー部

平成30年度 愛知県高等学校新人体育大会
ラグビーフットボール競技 名南知多支部予選会
優勝 →県大会へ

平成30年度 愛知県高等学校新人体育大会
ラグビーフットボール競技 愛知県大会
ベスト8

■放送部

東京ビデオフェスティバル2019
アワード賞(最終8作品)

■書道部

第27回国際高校生選抜書展
入選 山崎 一慶 (211)

星名名古屋中学校出身

1年生



スポーツ大会を通して 気付けたこと

103 木根 陸斗 (春日井市立鷹来中学校出身)

僕は、スポーツ大会の運営に関わることで、とても大切なことに気付きました。それは自分達の運営で誰かが楽しんでくれることへの喜びです。

準備の段階から毎日残って、みんなで意見を出し合いました。審判の配置、雨天バージョンの作成、トーナメントの組み方など、他にもやることはたくさんありました。しかし、前日になっても準備は終わらず、ギリギリまで作業を続けました。

スポーツ大会が終わった後、みんなが「楽しかった」と言って教室に戻っていく姿を見ました。苦勞して準備したからこそ、僕は本当に嬉しかったです。自分達が頑張って創り上げたもので誰かが楽しんでくれる。この経験を活かして、来年も色々な企画を引っ張っていきたいです。

みんなの力を借りてよかった

206 桜井 純奈 (名古屋市立はとり中学校出身)

私は今回のスポーツ大会で学んだことがあります。まずは、人の手を借りることの重要性です。目的の1つに「クラ連以外の人を巻き込む」ことがありました。スポーツ大会にはみんなの協力が必要不可欠で、多くの人の協力がなければ上手くいかなかったと感じています。そういった意味で「みんなで作ったスポーツ大会」であったと思います。

そして支えてもらうことの大切さです。会議で、先生から「生徒の手で運営してほしい」と言われました。そのため、先生にも「自分で決めて」と言われることで悩みました。その中で「進んでる?」という言葉に、「私一人で運営しているんじゃない」と実感し、協力し合うことでスポーツ大会はでき上がったと思いました。

私にとってスポーツ大会は楽しさや辛さや忙しさが詰まった、大きな行事でした。みんなの楽しんでいる姿や言葉で、「やってよかった」と思えたり、みんなのことが好きになりました。ありがとうございました。

リベンジ

105 雑賀 瑞紀 (名古屋市立津賀田中学校出身)

3月のスポーツ大会はリベンジでした。年末の12月の学年レクではチーフとして臨みましたが、自分のことで精一杯でした。すべて自分で解決することを優先してしまったからです。終わったときに自分の達成感と、クラ連の達成感とのギャップを感じました。

3月のスポーツ大会ではクラ連全体に協力してもらい、全員で準備・運営することを意識しました。チーフである僕にはすべてを把握することが必要で、1人で解決していくよりも難しくて大変だった。さらに当日にはクラ連以外にもさまざまな部活に準備体操や審判を頼み、多くの人の協力でスポーツ大会を大成功で終えることができました。

チームを引っ張る人は自分1人でやらず、自分から発信し周りからの信頼を得て巻き込む力のある人だと思います。1人では小さなことも成し遂げることは難しいですが、多くの人の力が集まれば、大きなことも成し遂げることができると感じました。

ということで、リベンジ大成功!



ス ポ ー ツ 大 会



2年生

卒業生の合格体験記

三重大学 生物資源学部 生命圏生命科学科

普通科 石黒 早紀（名古屋市立原中学校出身）

私は特に優秀な生徒だった訳でもなく、飛び抜けて早く受験勉強を始めていた訳でもないため、自分の失敗談・経験談から皆さんにアドバイスしたいことをまとめてみました。皆さんの失敗を防ぐ良い反面教師になれば幸いです。

進路を決める時は慎重に

志望する職業・進学先がある人は『何故その職業・学校を選んだのか』日々自分に問い続ける事が大切だと思います。その理由が『昔からの夢だから』となっている人は要注意です。過去の自分と現在の自分の目標・したい事が同じであるとは限りません。今一度『選んだ理由』を考えてみてください。

まだ志望する職業・進学先がない人は、自分の意思で決めることが大切だと思います。もちろん誰かに意見を求めるとは悪いことではありません。しかし『〇〇に勧められたから』という理由だけで将来の職業・進学先を決めると、そのための努力をする際に挫折してしまう可能性が高くなります。自分の意思で、明確な理由を持って、焦らずに進路を決めることが大切です。

私が最終的に進路を決めたのは高校3年生の6月でした。中学生の頃から目指していた進路を急遽変更したため、当時はとても焦りました。しかし、この時に就きたい職業・志望校を見つけることができたため、その後、受験勉強を辞めたいと思わずに続けることが出来ました。

東京藝術大学 音楽学部 邦楽科

音楽科 野村 大地（名古屋市立丸の内中学校出身）

僕はこの度、東京藝術大学邦楽科に合格しました。しかし、結果的に合格したとは言っても、自分としては反省すべき点が多くあったと強く感じています。まず最大の反省点としては、受験本番を1年後に控えた時期になっても、藝大に必要な国語・英語のセンター試験に向けての勉強をほぼ全くとっていいほどしていなかった事です。母は当然心配していましたが、自分としては国語の過去問を解いてもまったく難しく思えませんでした。ただ、その反面、英語の方はまったく点を取れる気がしませんでした。国語で総合点を稼ごうと甘く考えていました。それ故になかなか塾などに行く気にはなれませんでした。流石に本番数ヶ月前になって来ると不安になってきて、個別指導の塾を少しでも足しになるよう受けました。

株式会社 テンポスバスターズ

商業科 松浦 永里香（清須市立清洲中学校出身）

私は、デザインを考えて形にすることが好きでした。それを活かすことのできる仕事に就きたいと考えていました。そんな時、就職担当の先生が紹介してくださったのが、「テンポスバスターズ」でした。

この会社は主に、飲食店の業務用の備品などを販売している会社で、販売員の仕事内容の中に、売り場管理として「POP作成」が含まれていたのでここに決めました。

しかし、この会社の求人が来るのは初めてだったので、今までの試験や面接の内容が分からない、ゼロからのスタートでした。まず、夏休みに会社見学へ行き、求人票やパンフレットを見て浮かんた質問をしたり、説明を受けたりしました。店長さんがとても話しやすい方で社員の方々も働きやすそうだったので、さらにここで働きたいと思いました。

就職への準備で最初につまずいたのは「自己PR」でした。自分の良いところを書き出すのは苦手だったので、頑張ってきたことから探し出したり、両親や友だちに聞いたりしました。

オープンキャンパス・体験入学には積極的に参加を

まず第1志望の学校のオープンキャンパス・体験入学には必ず参加すべきです。実際に訪問してみないと分からない事が意外とたくさんあります。

また、推薦入試を受ける可能性がある学校のオープンキャンパス・体験入学にも参加すべきです。入試の面接で「うちの学校が受験生に向けて行った行事に参加したことはありますか」と聞かれることがあります。遠くの学校や複数の学校に行くのは時間がかかるため、丁寧に校内を回るためにも1・2年生からの参加をおすすめします。

最後に・・・努力している最中に「あなたには絶対無理」と言ってくる人がいるかもしれません。しかし、その言葉に落ち込まないで下さい。あなたの頑張りを見てくれる人はたくさんいます。決して最後まで諦めず頑張ってみてください。努力の先にはきっと後悔しない結果が待っているはずです。悔いのない高校生活を！私も皆さんのことを心から応援しています。

結果として、センター試験での英語の出来はそんな付け焼き刃でどういかなるはずもなく酷いものでした。やはり、結果はどうあれ以前から自力で勉強をしておけば無駄な負担を両親にかけることもなかったのだと思うと、反省すべき点であると思います。

実技試験の面では、師匠である父親に長い事受験に向けての指導をしてもらいましたし、受験の時期は狂言の仕事も減らしてもらっていました。それによって僕自身の負担は減りましたが、当然他所に負担がかかっていたと思います。僕は両親や先生、協力して下さった方々に強い感謝の念を持ち、これからの生活を有意義な物にする事で恩返しをしたいと思っています。

次に大変だったのが「面接練習」です。自分でアポを取って、10人以上の先生に見てもらいました。伝えたいことがすべて伝わらなかったり、直そうと思って意識していてもまだ足りなかったり、考えてあった事がうまく言えず、ときに泣いたこともありました。また文化祭準備の忙しい期間でもあり、スケジュール管理が本当に大変でした。それでも、就職活動は成功させたいと思い、毎日面接や就活について考えていました。面接はとにかく場慣れすることが大切だと思います。

面接本番では練習していたことがなかなか聞かれませんでした。準備してあったことをつなぎ合わせて答えることができました。試験が終わってからも、ずっとあの受け答えでよかったのか考えていましたが、先生から「内定」の報告をもらった時、ホッとしました。それまで自分がやってきたことが良い結果になって返ってきたので、とても嬉しかったです。

これからも、就活での努力を忘れず仕事を頑張っていきたいです。

2019年度就職・入試合格状況(一部) 2019/3/1現在 現役のみ

■ 四年制大学

同朋大学、名古屋音楽大学、名古屋造形大学、東京藝術大学、三重大学、愛知県立芸術大学、金沢美術工芸大学、愛知大学、愛知学院大学、愛知工業大学、愛知淑徳大学、桜花学園大学、金城学院大学、至学館大学、修文大学、椋山女学園大学、星城大学、大同大学、中京大学、中部大学、東海学園大学、名古屋外国語大学、名古屋学芸大学、日本福祉大学、人間環境大学、名城大学、岐阜医療科学大学、岐阜保健大学、共立女子大学、駿河台大学、東京造形大学、東洋学園大学、武蔵野音楽大学、大阪体育大学、関西外国語大学、近畿大学、帝塚山大学、京都外国語大学、龍谷大学、びわこ成蹊スポーツ大学、広島都市大学 など

■ 短期大学

名古屋短期大学、名古屋柳城短期大学、岐阜保健大学短期大学部 など

■ 専門学校

愛知県立総合看護専門学校、名古屋市立中央看護専門学校、津島市立看護専門学校、半田常滑看護専門学校、名古屋市医師会看護専門学校、豊田地域看護専門学校、愛北看護専門学校、えきさい看護専門学校、まつかけ看護専門学校、桑名医師会立桑名看護専門学校、聖マリアンナ医科大学看護専門学校、星城大学リハビリテーション学院 など

■ 就職

愛知県警、税務職員、アイシン・エイ・ダブリュ、アイシン精機、海南病院、テンポスバスターズ、新日鐵住金株式会社、JR東海、センゾー、中部電気保安協会、TBCグループ株式会社、名古屋三越、日鉄住金電磁、日本郵便株式会社、ホテルメルパルク名古屋、ミュゼブラチナム、名鉄百貨店、臨港病院 など

憧れの四種目1級

315 鮫島 由羽（名古屋市立鳴海中学出身）

初めて学ぶ科目。初めて聞く単語。初めて目にする帳簿。こんなにもたくさんの初めてに触れて勉強する毎日は、どこか新鮮でした。私はこの初めてが楽しくて勉強していく中で、もっと知りたい、もっと学びたいと興味で溢れていました。

初めて受けた検定では、商業科全員で頑張ろうと団結して、授業中の集中力や授業後の自主学習など仲間と協力する時間が増えました。そのおかげで合格した時の達成感や喜びを、クラスみんなで分かち合うことができました。それ以降も、仲間同士での教え合いから友達ができたり、教えることにより知識が深まる実感があつたりと、検定を通してたくさんの経験ができました。

また、商業科目を勉強していくうちに、私の中で簿記への興味も深くなり、将来の職業に活かしたいと考えるようになりました。簿記選択コースで勉強している中、先生から税務職員という職業の紹介がありました。初めて耳にする職業で、どのような業務内容の仕事で、どのような人が

携わっているか何も知りませんでした。しかし、これを機に興味を持ち始め、自分で調べていくうちに税務職員という職業に就きたいと思うようになり、私の将来の夢となりました。夢のために必要な知識として、授業では取り扱っていなかった検定も受けるようになりました。自学習のため日々、日付が変わる時まで学習し、自分の夢のために頑張ろうと努力しました。そして検定1級合格。四種目1級を取得することができました。

私は検定を通じて、仲間と協力して味わうことのできる嬉しさや楽しさを感じたり、自分の将来の夢が明確になったりと、充実した3年間を送ることができました。また、検定勉強をしている際には苦しくて大変な時もありましたが、努力の先には一つの成長があり、振り返ると、あの時頑張っで良かったと思えるようになりました。今頑張っている後輩の皆さんは、努力することを諦めず、今の自分と向き合い、将来の自分へ繋げることが出来るよう、一日一日を大切に頑張ってください。

全国商業高等学校協会主催検定試験

五種目1級合格者

310 吉川 知花（名古屋市立御田中学校出身）

四種目1級合格者

311 板倉 史佳（大治町立大治中学校出身）

311 鮫島 由羽（名古屋市立鳴海中学校出身）

311 玉村 綾那（名古屋市立一柳中学校出身）

三種目1級合格者

310 原 瑞稀（大治町立大治中学校出身）

310 山崎 琴乃（清須市立新川中学校出身）

311 西垣 皓平（名古屋市立八幡中学校出身）

311 馬場 雄基（名古屋市立御田中学校出身）

311 鵜飼 美月（名古屋市立富田中学校出身）